

[平成 28 年 3 月 7 日]

鉄建建設株式会社 経営戦略室 広報部

東京都千代田区三崎町 2-5-3 〒101-8366

TEL 03-3221-2297 FAX 03-3264-2913

あわっと あと施工部分スリット工法「AWAT工法」の追加評定取得 ～窓サッシの取り換えを不要にして、施工コストを低減～

- 鉄建建設株式会社（本社：東京都千代田区、社長：林 康雄）は、株式会社エフアイティーと共同開発した「あと施工部分スリット工法(AWAT工法)」の一般評定（評定番号 CBL RC006-14 号）を 2016 年 2 月 24 日付けで一般財団法人ベターリビングより再取得しました。
- AWAT工法は、非構造壁と柱の間にスリットを設け、構造的に縁切りをすることで柱の変形性能を向上させ、既存建物の耐震性能を向上させる、あと施工スリット工法のひとつです。AWAT工法の特長は、水の代わりに泡溶液を用い、AWAユニットにより切断泡を形成して、ウォールソーおよびコアドリルにより切断・穿孔して壁に部分スリットを形成する点です。水を用いて施工する場合と比較して 1/10 の量の泡溶液で施工できるため、内部への漏水が防止され、切断汚泥の排出も少なく、さらに騒音・振動・粉塵も低減されます。「AWAT工法」では、腰壁・たれ壁について完全スリットと同等の耐震性能を有していること、および袖壁についても部分スリットの評価法を確立し、2014 年 2 月に一般評定を取得していました。
- これまでの評定では、腰壁やたれ壁において、手ばつりやハンマードリルでサッシ周りの一部（図-1）のモルタルやコンクリートを撤去する必要がありました。今回取得した一般評定で、上記のサッシ周辺箇所を撤去しなくても、AWAT工法の設計施工指針に示す条件と構造詳細を満たせば、要求される構造スリットの性能を満たすことが証明されました。この追加内容（図-2）によって、サッシを取り替えずに構造スリットの性能を満たすことができ、施工コスト、居住者への負担を大幅に低減できます。



図-1 スリット施工部分

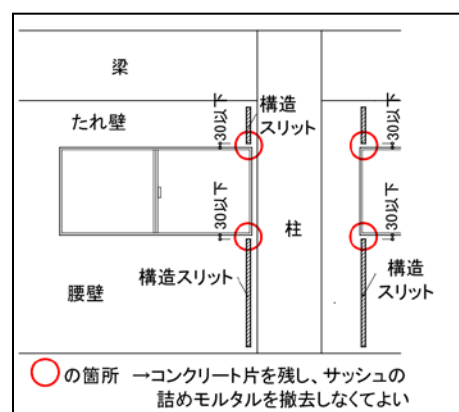


図-2 追加内容

- 今回の追加評定でどのようなケースにおいても居住しながら施工可能となり、活用を広げることができます。現在、「AWAT工法研究会（問合せTel.03-5637-7002）」の加盟各社において、官公庁・民間に耐震改修工事への施工実績を上げております。

以上